

⑤ コンクリートブロック積工

1. 適用範囲

1-1 標準単価が適用出来る範囲

- (1) 勾配が1割未満（1：1.0未満）の法面に施工するブロック積みで、JISタイプ（JISで規定する形状寸法）の積ブロック（間知・ブロック質量150kg／個未満）を使用する場合に適用する。

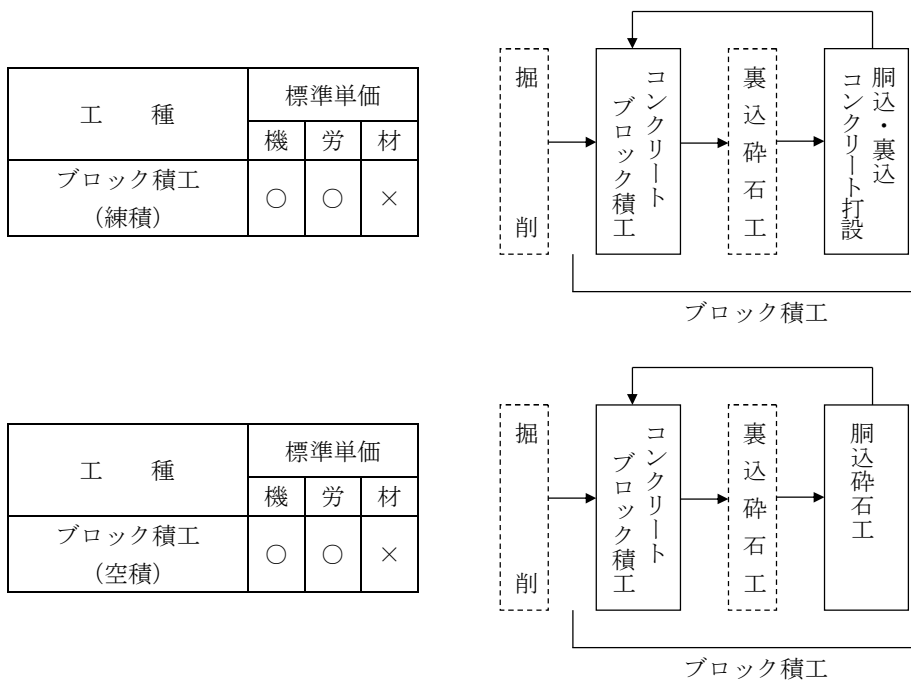
1-2 標準単価が適用出来ない範囲

- (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの
 - 1) 積ブロック（間知・ブロック質量150kg／個以上）を使用する場合。
 - 2) 作業半径が8.5mを超える場合又は吊上げ高さが5.8mを超える場合。
 - 3) 勾配が1割以上（1：1.0以上）の法面に施工する場合。
 - 4) JIS以外の積ブロックを使用する場合。
- (2) 特別調査等別途考慮するもの
 - 1) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。
 - 2) その他、規格・仕様等が適合せず、標準単価が適用出来ない場合。

2. 標準単価の設定

2-1 標準単価の構成と範囲

標準単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。



- (注) 1. 材料ロス及び現場内小運搬を含む。
 2. ブロック積工には、調整コンクリートも含む。
 3. 練積の場合は、胴込・裏込コンクリートの打設手間を含むが、材料費は含まない。空積の場合は、胴込砕石工の手間を含むが、材料費は含まない。なお、材料費については、施工単価入力基準表（WB825010）で考慮されているため別途計上する必要はない。
 4. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費及び材料費は含まない。なお、必要な場合は別途考慮する。

2-2 標準単価の規格・仕様

ブロック積工の規格・仕様，日当たり標準施工量は，下表のとおりである。

表2.1 規格・仕様区分

区 分	規 格・仕 様	単 位	日 当 り 標 準 施 工 量
ブロック積工	JISタイプの積ブロック(間知・ブロック質量150kg/個未満)， 調整コンクリート等	m ²	10

(注) 1. 上表の日当たり標準施工量には，コンクリートブロック積工，裏込砕石工，胴込・裏込コンクリート工(空積の場合は胴込砕石工)までの一連作業を含む。

2. 胴込・裏込コンクリート工を施工しない場合も上表による。

2-3 補正係数

(1) 補正係数の適用基準

表2.2 補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
補正係数	裏込コンクリートを施工しない場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量
	空積の場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量

(2) 補正係数の数値

表2.3 補正係数の数値

区分		記号	ブロック積工
補正係数	裏込コンクリートを施工しない場合	K ₁	0.92
	空積の場合	K ₂	0.87

2-4 直接工事費の算出

練積の場合の直接工事費 = (設計単価 (注1) × 設計数量) + ブロック材料費 (注2) + 胴込・裏込めコンクリート材料費 (注3)

空積の場合の直接工事費 = (設計単価 (注1) × 設計数量) + ブロック材料費 (注2) + 胴込砕石材料費 (注4)

(注1) 設計単価 = 標準単価 × (K₁ or K₂)

(注2) ブロック材料費 = ブロック単価 [円/個] × m²当り使用量 [個/m²] × 設計数量 [m²]

(注3) 練積の場合は、コンクリート材料費を計上する。材料費の計上は次式による。

材料費 = コンクリート (胴込・裏込) 材料単価 × 設計数量 × 1.12 (ロス分)

(注4) 空積の場合は、胴込砕石材料費を計上する。材料費の計上は次式による。

材料費 = 砕石 (胴込) 材料単価 × 設計数量 × 1.12 (ロス分)

3. 適用にあたっての留意事項

標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。

- (1) 布積、谷積を問わず適用出来る。
- (2) 設計面積は、ブロック積本体の面積と調整コンクリートの面積を合計した面積とすること。
- (3) ブロック積工は、目地、水抜パイプ等の施工 (材料費含む) の有無に関わらず適用出来る。
- (4) 遮水・止水シート及び吸出し防止材を全面に施工する場合は「第Ⅱ編第2章③コンクリートブロック積 (張) 工」により別途計上する。
- (5) 小口止コンクリートは、「第Ⅱ編第2章③コンクリートブロック積 (張) 工の現場打小口止コンクリート」により別途計上する。
- (6) 基礎・天端コンクリートを施工する場合は「第Ⅱ編第2章③コンクリートブロック積 (張) 工の現場打基礎コンクリート工及び現場打天端コンクリート工」により別途計上する。
- (7) 基礎・裏込砕石を施工する場合、基礎砕石は「第Ⅱ編第2章②基礎・裏込砕石工」、裏込砕石は「第Ⅱ編第2章③コンクリートブロック積 (張) 工」により別途計上する。

4. 施工単価入力基準表

(1) コンクリートブロック積工

施工歩掛コード	WB825010	施工単位	m ²					
施工区分	入 力 条 件							
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8
	コンクリート積ブロックの規格 (表4.1)	時間的制約の有無 ①無し ②有り ③著しく有り	夜間作業の有無 ①無し ②有り	練積・空積の区分 ①練積 ②空積	裏込コンクリートの施工の有無 ①有 ②無	胴込・裏込コンクリートの使用量 (m ³ /m ²) (実数入力)	生コンクリートの規格 (表4.2)	胴込碎石の規格 (表4.3)

J 9
胴込碎石使用量 (m ³ /m ²) (実数入力)

- (注) 1. J 1条件で③を選択した場合、コンクリート積ブロック単価 (Y-0364001) [円/m²] を単価登録すること。
2. J 4条件で①を選択した場合、J 8～J 9条件を入力する必要はない。
3. J 4条件で②を選択した場合、ブロック積の高さが3 m以下でなければならない。
4. J 4条件で②を選択した場合、J 5～J 7条件を入力する必要はない。
5. 本コードは、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含んでいるため、J 6条件の使用量は、ロス率を含まない数量を入力すること。
6. 胴込・裏込コンクリートm²当り使用量は、胴込・裏込コンクリートの設計数量を入力する。
7. 胴込・裏込コンクリートは、一般養生の施工の有無に関わらず適用出来る。
8. J 7条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m²] を単価登録すること。
9. J 8条件で⑤を選択した場合は、碎石単価 (Y-0241000) [円/m³] を単価登録すること。
10. 本コードは、胴込碎石工の材料ロスを含んでいるため、J 9条件の使用量は、ロス率を含まない数量を入力すること。

表4.1 コンクリート積ブロック規格

規 格	入力番号
JIS滑面 150kg/個未満	①
JIS粗面 150kg/個未満	②
各種	③

表4.2 生コンクリート規格

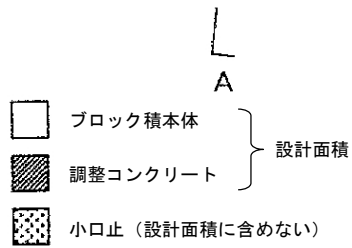
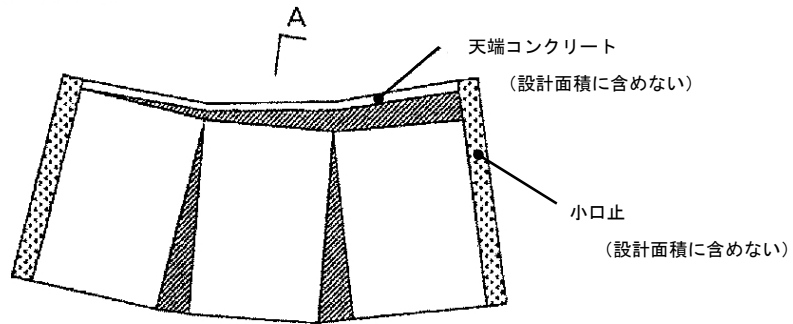
規 格	入力番号
18-8-25(20)(普通)	①
18-8-40(")	②
18-8-25(20)(高炉)	③
18-8-40(")	④
各種	⑤

表4.3 胴込碎石規格

碎 石 規 格	入力番号
再生碎石 RC-40	①
再生碎石 RC-80	②
碎石 C-40	③
碎石 C-80	④
各種	⑤

5. 参考資料 参考図(コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止))

正面図



A-A断面

